

## 頭を打ったら

歩き始めるころの子どもはよく転び、頭を打つことがあります。多くの場合は特に問題になりません。心配なのは、強く頭を打った場合で、頭の中で出血し手術が必要になることもあります。



急いで受診

の目安

- 意識がない 目つきがおかしい ぐったりしていて元気がない
- けいれんしている
- 耳や鼻から血液や透明の液体がもれ出ている
- 何回も続けて吐いてしまう
- 頭痛を強く訴える
- 打った部分がへこんでいる 出血している

- はれていれば冷やしましょう。
- 出血はタオルで圧迫しましょう。

### ◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 耳や鼻から血液や透明の液体がもれ出している場合は、頭蓋骨が骨折し、頭の中に出血があったり、脳脊髄液がもれ出ている可能性があります。すぐに救急車を呼んでください。
- 頭を打った後、大きな声で泣き、その後は普段と同じように元気が良くなったら、まず大丈夫と考えてよいです。ただし、頭を打った直後は元気でも、後から症状が現れることもまれにあります。1、2日の間は意識がおかしくないか、機嫌・顔色は悪くないか、急に吐いたりしていないかなどに注意してください。
- 血圧が上がり頭痛がおこるなど状態が悪化する可能性がありますので、頭を打った日はなるべく安静にし入浴はやめておきましょう。

## 耳を痛がったら

子どもが耳を痛がることはよくあります。中耳炎が最も多い痛みの原因です。耳のあなに小さな異物が入っても耳を痛がります。耳の痛みを言い表せない乳幼児は、泣いたり不機嫌になったりして耳の痛みを訴えます。



急いで受診

の目安

- ひどく痛がる
- 耳の後ろが赤くはれて痛がる

### ◆◆◆ 解説 ◆◆◆

- 耳の痛みだけなら、子ども用の解熱剤（痛み止めにもなります。）を使って様子を見ましょう。たとえ中耳炎でも、翌日にかかりつけ医を受診すれば大丈夫です。
- 耳の下がはれている場合は、おたふくかぜの可能性がありますが、翌日にかかりつけ医を受診すればよいでしょう。